

## 海外安全対策情報（平成27年第2四半期）

### 1 社会・治安情勢

- (1) 政府の政策等に不満をもつ一部の団体によりデモや集会等が頻繁に開催されている。  
一昨年9月には環境保護を標榜する団体が、審議中の法案に反対し小銃等を携行して政府庁舎付近で抗議活動を行った結果、銃が暴発するという事件も発生した。
- (2) 国内の経済の先行きに関する不安、貧富の差の拡大や資源ナショナリズム等から、外国人をターゲットとした暴力行為や強盗・窃盗事件が昼夜を問わず発生している。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) モンゴル国警察庁から入手した本年4月から6月までの犯罪統計によると、総犯罪認知件数は6,979件と前年同期に比べて1.2%の増加となっている。犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人	38件	(前年同期比)	-28.3%
強盗	128件	(同)	-31.6%
強姦	68件	(同)	-19.0%
暴行・傷害	1,940件	(同)	-10.1%
窃盗	2,365件	(同)	+17.8%
ひったくり	63件	(同)	±0%
詐欺	452件	(同)	+8.9%

年間の犯罪認知件数は、2012年以降増加を続けており、従来型のスリやひったくり等の路上での犯罪に加え、インターネット等を利用した詐欺犯の急増などにより、治安情勢は悪化の一途にある。

本年上半期の犯罪情勢は、殺人、暴行・傷害、強姦等の生命・身体に対する犯罪が減少傾向にある一方、窃盗や詐欺等の財産に対する犯罪が増加していることである。

### (2) 邦人被害事案

ア 4月中旬の午前1時ころ、在留邦人の男性がウランバートル市内でタクシーに乗車し、途中で車内にバッグを置いたまま一時的に車外に出たところ、突然タクシーが走り去りバッグを盗まれる被害に遭った。

イ 6月下旬の午後2時ころ、日本人旅行者の女性がウランバートル市内中心部の横断歩道を横断中、見知らぬ男性がスーツケースを押すのを手伝いそのまま去って行ったが、気がつくとならぬ男性がバッグの外側ファスナーが開いており、中に入れていた財布を盗まれる被害に遭った。

### 3 テロ・爆弾事件発生状況

なし

### 4 誘拐・脅迫事件発生状況

なし

### 5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。